

中支部だより

第4号

平成24年度建築士会活動交流会

第10回(社)神奈川県建築士会活動交流会中支部大会は平成25年2月9日(土)二宮町・町民センターにて開催されることになりました。(「建築士」11月号同封の「We s news 54」にて既報。)

テーマの「高齢化社会に求められる建築とは、建築士の役割とは」に沿い町民センター大ホールにて、第I部(午後1時〜午後3時)

では講演会を開催。始めに「県高齢者居住安定確保計画とサービスピ付高齢者向け住宅について」の題で、神奈川県土木整備局建築住宅部住宅計画課長根岸宏文氏の講演、続いて「終のすみかへ」生活の質と建物・空間の関係」の題で、社会福祉法人伸こう福祉会専務理事片山ます江氏による講演、最後に「高齢化社会で期待される建築士の役割と

責務」の題で、明治大学理工学部建築学科園田眞理子教授による講演が行われます。

第II部(午後3時〜午後4時半)では「そのとき建築士に何が期待されているのか」と題し、講師のお一人である園田眞理子教授をコーディネーターとし、パネラーは上記講師2名に加え建築での活動者として本会技術支援委員会福祉部会

島山正広氏会員を加えパネルディスカッションを行います。

会場を移し第III部(午後4時半〜午後6時)では、立食形式で懇親会を催します。交流会では各支部・委員会からのパネル展示もあ

り、懇親会中ほどでパネル出展者のショートコメントを行う予定です。日頃会うことが難しい会員同士の語らいの場になることを期待しています。

交流会に先立ち11月14日(水)に本会会議室にて、実行委員と講師陣との打ち合わせが行われました。講演やパネルディスカッションの基本部分が話し合われる中で、「今までの建築士は造りっぱなし、売りっぱなし。」などの建築士には耳が痛い話が講師陣達よりありました。

テーマは福祉・介護を背景にしていますが、今までは「和」と題し、現在「平成の大改修」が進行中の日光東照宮陽明門の秘話など「和」と木材塗装の関係についての話題を交え、新たな視点で塗装を学びました。

来年3月には小田原にてコラボ企画第2弾を予定しております。

知っているようで知らない木材塗装の話

中・小田原地方支部 共催セミナー



中支部と小田原地方支部のコラボ企画として共催セミナー「知っているようで知らない木材塗装の話」木材塗装の「適材適所」/「和」と塗装・その物語を知るくを木材塗装研究会長澤良一氏、キャピタルペイント(株)水谷穰氏を講師にお迎えし10月26日(金)平塚・八幡山の洋館第1会議室にて出席者32名で開催。

塗料と素材の相性が意外

にわかりにくい建築の「塗装」。特に難しい木材塗装を題材にその「適材適所」を解説頂き、また、現在「平成の大改修」が進行中の日光東照宮陽明門の秘話など「和」と木材塗装の関係についての話題を交え、新たな視点で塗装を学びました。

来年3月には小田原にてコラボ企画第2弾を予定しております。

秋の研修旅行

毎年秋恒例の支部・ナナメ塾研修旅行ですが、今年度は「石水館・マッケンジー邸・宿場町興津をめぐると題し11月17日(土)に開催しました。当日は昨年に続き生憎の雨模様でしたが15名の参加がありました。

往路は4月に開通した新東名を經由しバスは一路静岡市内へ。



「清見寺」を訪れました。午後も一向に雨脚は衰えず、当初締めくくり予定していたさつた峠への訪問は足元の危険を考え断念しました。大きな事故もなく無事旅行が終了しました。

の建築士としてのあり方を反省し、今後の建築士のあり方を考えさせられる内容となる予定です。交流会を通して触発・啓蒙されれば幸いです。

今回は中支部が開催支部

まずは建築家・白井晟一の末期の名作である「石水館」(静岡市立芹沢銈介美術館)、静岡唯一の現存ヴオーリズ作品「旧マッケンジー邸」を見学。昼食は静岡らしく桜海老丼を美味しく午後には東海道17番目の宿場町・興津の「興津坐漁荘」

【日時】平成24年12月7日(金) 19:00〜21:00
 【場所】千年の宴 秦野北口駅前店
 【会費】2,500円
 【募集人員】15名(先着順)
 【締切】12月5日(水) 12:00まで
 【申込】「お名前」「会員番号」「当日連絡用携帯電話番号」を書いてFAX 0463(88)432 澤田まで

今後の予定

○12月7日(金) 19:00〜21:00 忘年会
 ○2月9日(土) 13:00〜18:00 第10回(社)神奈川県建築士会活動交流会中支部大会
 ○3月9日(土)小田原地方支部との共催事業第2弾「(仮称)小田原歩き」
 ○ナナメ塾 随時開催。
 詳細が決定次第、会報誌「建築士」や中支部メーリングリストにてご案内をいたします。